

20th IEEE International Mixed-Signal Testing Workshop 参加報告

-ミクストシグナル I C テスト容易化技術への挑戦-

於 フランス パリ第6大学 (Université Pierre et Marie Curie)

開催日 2015年6月24日-26日

<http://tima.imag.fr/conferences/imstw/>

群馬大学と半導体理工学研究センターとの共同研究成果を発表

発表論文題目: Timing Measurement BOST With Multi-bit Delta-Sigma TDC

McGill 大学 (カナダ) の先生等より好意的なリ spons

参加者 60名強 (北米、欧州、日本から。日本からは1名のみ。)

アナログスキャン、アナログ故障シミュレーション、アナログ故障モデル、アナログ故障検出率、アナログ回路の欠陥ベーステスト等 長年研究されてきているが まだ実用化レベルのものは少ない。産業界で大きな関心。工学的センス(「100%でなくてもある程度」というアプローチ)から、これらの分野で実用化を目指した発表がいくつかあり。欧米ではコンソーシアム(ETS2)でこれらの問題へのシステムマッテックなアプローチを開始している。

アナログ I C の経年劣化のいくつかの研究発表。

車載用 I C 分野での欧州での共同プロジェクト成果報告あり

AUTOMICS: Pragmatic solution for parasitic-immune design of electronics ICs for automotive

欧州では地道で合理的な科学技術の研究がおこなわれているという印象あり。

車載/医療応用 I C 等でますます重要になってきているが

日本の大学では、アナログ/ミクスト I C のテスト容易化技術の研究を行っている研究室はほとんどない。

開拓者精神:

アメリカ西部開拓時代のフロンティアの開拓者たちを象徴とする精神のあり方。旺盛な意欲と行動力、前人未到の分野に踏み込むことを恐れない勇気。

会場

パリ第6大学。大学名にキュリー夫妻の名前が冠されている。

理学・工学・医学分野

パリ大学（仏：Université de Paris）

- フランス共和国のパリ、クレティユおよびヴェルサイユの3大学区にある13の大学の総称。
- 多くのノーベル賞受賞者を送り出している他、政治学、科学、物理学、神学などの分野で優秀な学者を輩出。
- 芸術の教育機関としても名高い。
- パリ大学の起源は12世紀前半
- 1970年に第1から第13大学までの独立した大学群に編制。
- 大学は1257年にフランスの神学者ロベール・ド・ソルボンが神学部学生用のソルボンヌ寮を設立して以降「ソルボンヌ (Sorbonne)」と呼ばれる。
- 大学が必ずしもソルボンの思想に基づいているわけではない。
- 現在の13校の中で第1から第4大学までがソルボンの意思を受け継ぐ伝統的な教育を行っており、そのうち3校（第1、第3と第4大学）はソルボンヌを冠としている。

(Wikipedia より)

パリ第6大学 工学部、理学部





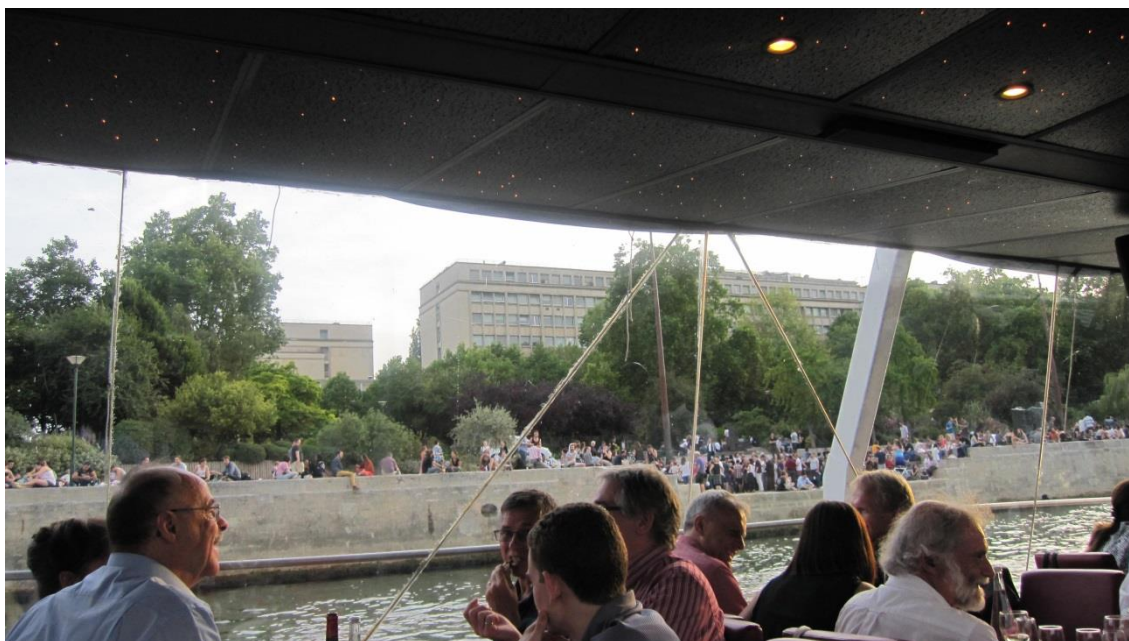
フランスは伝統的に数学が強い印象を持っている。
かつて、数学科志望の多くの学生は第二外国語でフランス語を選択したことを思い出す。

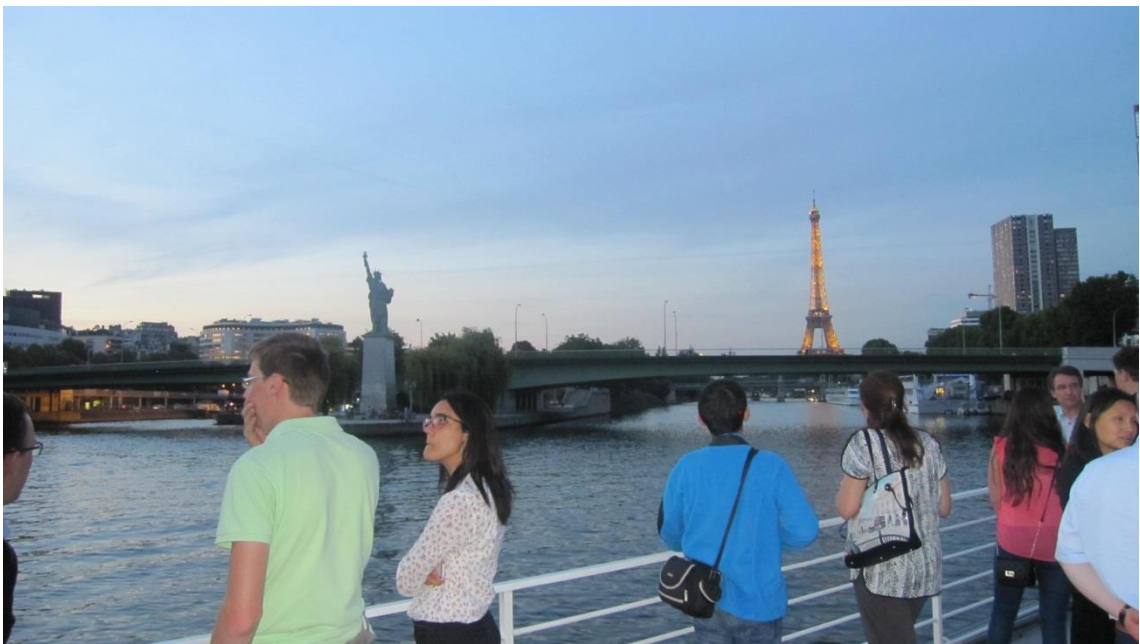


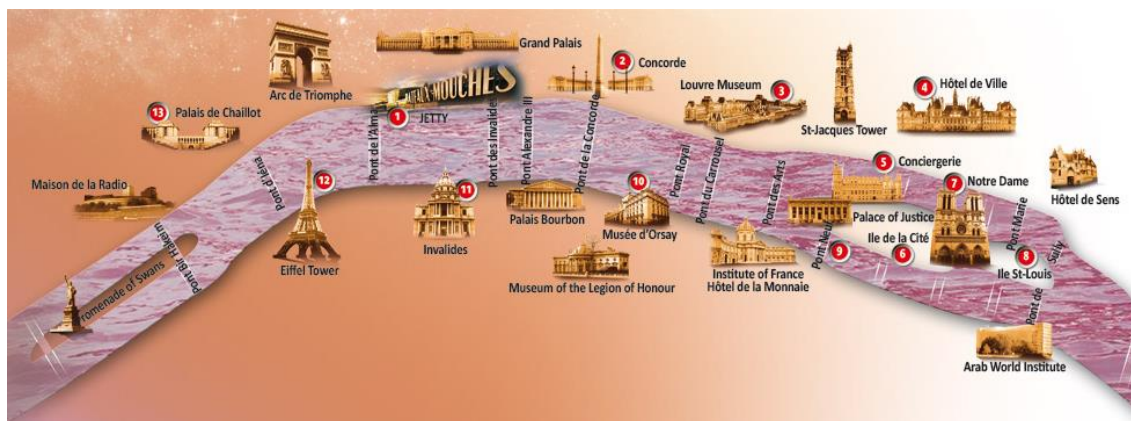
パリ第6大学 医学部



学会のソーシャルイベント







夏にはセーヌ河の両岸にはピクニックの人たちであふれるとのことである。

パリ市内









夜の9時過ぎまで明るく、気温は東京よりやや低い。
6月はパリを訪れるのによい季節とのこと。







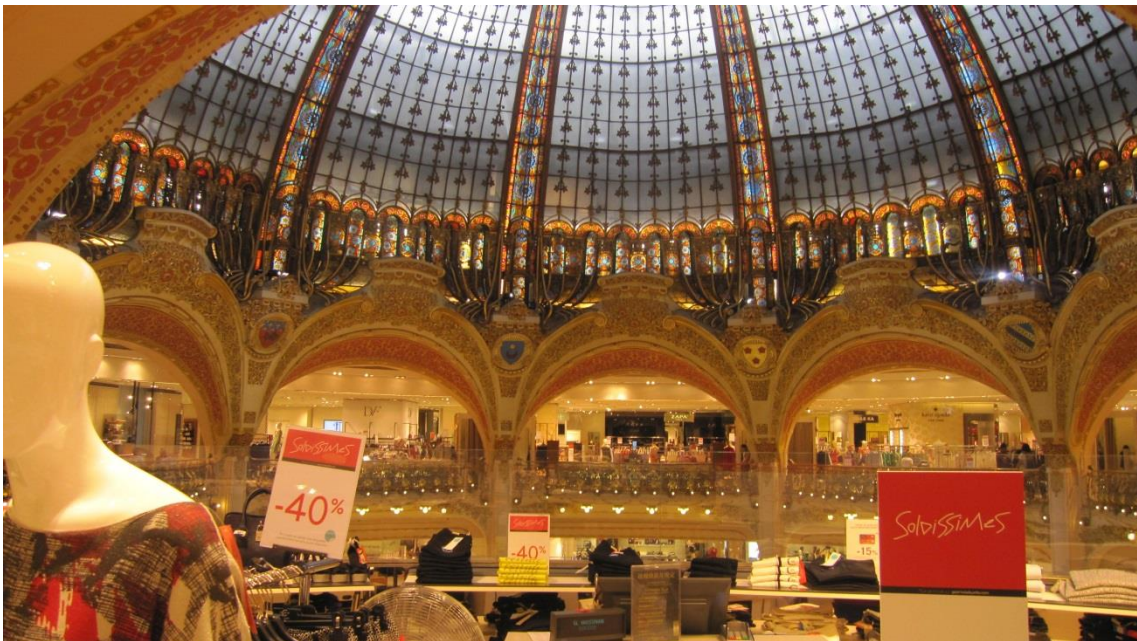


一つ一つが密度が濃い。









パリ市内地下鉄（メトロ）



Bastille、La Fayette 等 フランスの歴史にでてくる地名、人名の駅名にも
出会う。

シャルルドゴール国際空港 (Charles De Gaulle International Airport)



旅 上

ふらんすへ行きたしと思へども
ふらんすはあまりに遠し
せめては新しき背広をきて
きまなる旅にいでてみん。
汽車が山道をゆくとき
みづいろの窓によりかかりて
われひとりうれしきことをおもはむ
五月の朝のしのめ
うら若草のもえいづる心まかせに。

1913年4月 「純情小曲集」より

萩原 朔太郎

明治19年～昭和17年 群馬県前橋市出身

(写真 文責 群馬大学 小林春夫)